

平成 28 年 2 月 12 日

投資者の皆様へ

T & Dアセットマネジメント株式会社

2月12日の弊社投資信託の基準価額の下落について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
足許の市場動向と弊社投資信託への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。  
今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

弊社投資信託への影響

ファンド名	平成 28 年 2 月 10 日 基準価額(円)	平成 28 年 2 月 12 日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
T & Dインド中小型株ファンド [愛称: ガンジス]	7,909	7,434	475	6.01

(騰落率は小数点第 3 位四捨五入)

◆ 市況情報

	平成 28 年 2 月 9 日 指数値	平成 28 年 2 月 11 日 指数値	騰落率 (%)
Nifty 中型株 100 指数	12,174.20	11,593.00	4.77

海外の市場については基準価額への反映を考慮し、2月9日と2月11日と比較しています。

(小数点第 3 位四捨五入)

	平成 28 年 2 月 10 日 (円)	平成 28 年 2 月 12 日 (円)	騰落率 (%)
インドルピー(対円レート)	1.70	1.66	2.35

為替レートは三菱東京 UFJ 銀行の対顧客公示相場の仲値(TTM)

(小数点第 3 位四捨五入)

出所: ブルームバーグ

## 足許の市場動向

2月10日と11日にインドの主要株価指数が下落しました。

下落の主な要因としては、世界的に景気の先行きに不透明感が台頭していることに加え、欧州の銀行の財務問題に懸念が出てきていること、インドの大手銀行であるインドステイト銀行やICICI銀行の決算内容が低調であったこと、世界的な株安の流れを受けて海外投資家がインド株式の保有を削減するのではないかという懸念が台頭したことなどがあげられます。

このインド株式市場の下落および為替市場における円高インドルピー安の進行の影響により、ファンドの基準価額が前日比5%を超えて下落しました。

## 今後の見通し

インド株式市場は、当面外部環境に左右され、変動性の大きい相場展開が想定されます。しかしながら、インドではインフレ、経常収支、財政収支等のファンダメンタルズが改善傾向にあり、リスクオフに対する耐久力が高まっていると考えています。また、景気回復の初期段階にあること、中長期的には中間所得層の台頭による消費の拡大や若年層の比率が高い人口構造の優位性などといった構造的な成長力に加え、企業業績の伸びや株価収益率の拡大による株価上昇が期待できるため、現行の株価水準で成長性に魅力のある中小型株のポジションを構築する良い機会であると考えています

以上

当資料はT & Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認いただき、ご自身でご判断ください。

## 投資信託のお申込みに際してのご留意事項

### 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

### 投資信託に係る費用について

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 4.32%(税込)

信託財産留保額・・・上限 2.75%

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 1.998%(税込)

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

\* 上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

\* 詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

### (ご注意)

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T & Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。